

参加チーム 各位

2020年9月3日

一般社団法人大阪府サッカー協会
フットサル委員会

JFA 第11回全日本U-15女子フットサル選手権大会 大阪大会 大会要項

記

大会名称	JFA 第11回全日本U-15女子フットサル選手権大会 大阪大会
日程	2020年9月20日(日) 9月27日(日)
会場	マグフットサルスタジアム
主催	公益財団法人 日本サッカー協会
主管	一般社団法人 大阪府サッカー協会
協力	大阪府フットサル連盟

参加資格 以下の手続きを、代表者会議までしておくこと。

1) フットサルチームの場合

①公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル3種」、または「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独チームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。公益財団法人日本サッカー協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。

②前項のチームに所属する2005年4月2日以降に生まれた選手であること。女子に限る。

③外国籍扱いとする選手は1チーム3名までとする。

(ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数は2名以内)

2) サッカーチームの場合

①公益財団法人日本サッカー協会に「3種」、「4種」または「女子」の種別で加盟登録した単独チームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。公益財団法人日本サッカー協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。

②前項のチームに所属する2005年4月2日以降に生まれた選手であること。女子に限る。

③外国籍扱いとする選手は1チーム3名までとする。

(ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数は2名以内)

※代表者会議までに上記のチーム登録をキックオフにて行ったチームで、選手登録の手続きを済ませていること。

※1チームの登録選手は20名までとする

(各試合に登録できる選手は12名までとする。)

(サッカーで3種登録が完了しているチームは、別途登録手続きをしていただく必要はありません。)

3) 公益財団法人日本サッカー協会の本大会登録を行うチームであること

(大会登録票の提出)

4) 成人で、チームおよびチーム関係者の行動を掌握できる、引率者がいること。

5) チームまたは個人でスポーツ傷害保険に加入していること。

6) 主催者および会場施設が指定する感染症対策について、チームで責任をもって遵守し、管理できること(『OFA フットサル競技会コロナ対策ガイドライン』に依る。また、感染症対策に関する同意書兼誓約書に署名のうえ提出し、遵守すること)

チーム数 5チーム

競技方式 【グループリーグ】5チームの変則リーグ戦を行う。(別紙スケジュール表参照)

※勝ち点の計算方法：勝ち3、分け1、負け0

※成績の決定方法：1. 勝ち点 2. 当該チーム同士の対戦結果 3. 得失点差 4. 総得点 5. 抽選(くじ引き)

試合時間：20分プレーイングタイム(前後半のインターバル：5分)

※同点の場合、延長戦は行わない。

【決勝トーナメント進出方法】

リーグ戦成績上位4チームを決勝トーナメント進出とする。

【決勝トーナメント】

試合時間：20分プレーイングタイム(前後半のインターバル：5分)

※同点の場合は決勝戦のみ6分間の延長戦を行う。それでも決しない場合は、PK戦にて勝者を決定する。

【罰則規定】

※大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。

(グループリーグで受けた警告は、決勝トーナメントには持ち越さない。但し、グループリーグ最終試合で2回目の警告を受けた場合、決勝トーナメントには出場できない。)

※大会中に退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。

※大会中に退席を命じられた役員は、次の1試合にベンチ入りできない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。

※片方のチームが試合開始時に3人未満の場合は、0-3の不戦敗とする。

※試合途中で片方のチームが3人未満になった場合や、その他の理由で試合が打ち切りとなった場合は0-3、もしくは打ち切りとなった時点で0-3以上の点差がついていた場合はその結果とする。

注意1 [試合に関して]

- 1) 第一試合のチームは8時45分までに会場に到着し会場準備を行うこと。最終試合のチームは会場片づけを行うこと。
- 2) 各チームは会場到着後、速やかにチーム全員の健康チェックリストを大会運営本部に提出する。
- 3) 大会1日目のグループリーグ、大会2日目準決勝はマッチコーディネーションミーティングは行わない。大会2日目決勝のマッチコーディネーションミーティングはキックオフ予定時刻45分前に、大会運営本部または大会運営委員会指定の場所で行う。その際、①選手証、②試合毎のメンバー登録用紙（ユニフォーム欄のみ空白）、③正副のユニフォーム（FP、GK2セットずつ、合計4種類）を持参すること。
- 4) ユニフォームに広告を掲示している場合はJFAから発行された回答書および申請書を携帯すること。
- 5) グループリーグ、準決勝の試合のユニフォームカラーは事前に（一社）大阪府サッカー協会フットサル委員会決定する。
- 6) 選手証、試合毎のメンバー登録用紙は試合開始30分前、決勝はマッチコーディネーションミーティング時に大会運営本部に提出すること。
- 7) ユニフォームに広告を掲示している場合は、JFAから発行された回答書および申請書を携帯すること。
- 8) ユニフォームに貼り番号をする場合は、キックオフまでに大会運営本部で確認をとること。【下記「注意2[その他]」3】参照のこと】
- 9) 審判員については（一社）大阪府サッカー協会より派遣する。
- 10) 試合中に飲めるのは水のみとする。その他の飲料はフロア近辺に持ち込まないこと。飲水場所は体育館の使用規定に従うこと。
- 11) 各試合に登録できる選手は12名までとする。
- 12) 役員の登録は監督を含め8名までとし、試合ごとに2名までの役員がベンチ入りすることができる。ベンチ入りする役員は、キックオフ予定時刻の30分前までに運営本部にてADカードを受け取り、試合中は常にADカードを提示していなければならない。ADカードは試合終了後、速やかに運営本部へ返却する。
- 13) ベンチでの氷のう袋の使用を認める。ただし、ビニール袋など水滴が周りに漏れるものは、飲水場所での使用のみとする。また、その使用により床やシートを濡らした場合は会場のモップを使用せず自チームで用意したタオル等で拭き取ること。

注意2[その他]

- 1) シューズはフットサルシューズまたは体育館シューズで、接地面がフラットで白、無色透明または飴色のものに限る。
※メーカーロゴなどのワンポイントが接地面にある場合も、白、無色透明または飴色以外の色の場合、使用を認めない。
- 2) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを大会登録票に記載し、各試合に必ず携行すること。なお、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない（シャツの黒や紺のユニフォーム登録は認められない）。
- 3) 番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。布貼りの場合は4辺を全て縫い付け、大会本部で許可を得たもののみ認められる。テーピングでの番号表記は認められない。
※ユニフォームの広告表示は、JFA「ユニフォーム規程」に基づき、承認を得た場合のみこれを認める。
- 4) 各チームで、ユニフォーム（シャツ）の正・副の色と明確に異なる色のビブスをメンバー分用意すること。ビブスは選手固有のものを使用し、試合中、競技者の交代はビブスの受け渡しは行わないものとする。
- 5) その他のユニフォームの規定は、当該年度JFA「ユニフォーム規程」に則る。
（エフシー → FCは可、おおさか → O S A K Aは不可）
- 6) 代表者会議以降の大会登録票の選手や役員の追加や変更は原則認めない。
- 7) 登録選手、役員全員が（一社）大阪府サッカー協会フットサル委員会が定める新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを順守すること。
- 8) 本大会は無観客試合とする。大会登録票に記載している人以外は会場に立ち入ることができない。
- 9) 競技規則を（一社）大阪府サッカー協会フットサル委員会が定める新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに従い、一部変更するものとする。

その他

- 1) 優勝チームは、関西大会に出場する権利と義務を有する。
11月15日(日)にアスコフットサルパーク MAYA（兵庫県）を予定
- 2) 優勝チームを表彰する。

新型コロナウイルス[COVID-19]の感染対策に関する特記事項（コロナ対策ガイドラインより一部抜粋含む）

- (1) 本大会は、「OFA フットサル競技会コロナ対策ガイドライン（以下、「ガイドライン」と表記する）に基づいて開催する。
- (2) 感染拡大状況の変化等により、大会を中断・中止または実施要項の一部を変更する事がある。
- (3) 新型コロナウイルスの感染が収束していない中での開催につき、全試合とも無

観客試合にて開催する。

- (4) 各チームの感染症対策責任者より当日参加選手・スタッフなどチームからの来場者全員分の健康チェックシートを、来場後に運営本部に提出し、確認を受けること。
- (5) チーム（選手・オフィシャル）、役員、審判員等の試合に参加する者がガイドラインに定める健康状態について問題がある場合は、当日の参加を認めず会場から退出すること。記入された健康チェックシートの提示が無い場合も同様に会場への入館を認めない。また、症状が無くとも関係機関からPCR検査の受診要請されている場合も参加を認めない。
- (6) 各チームへの感染防止策を含めた競技・会場運営については、事前に各チーム感染症対策責任者宛へ周知するので、チーム内への徹底を行うこと。
- (7) 試合当日は大会登録票に選手、役員のみが会場に来場することができる。会場では選手同様に必ずマスクを着用すること。
- (8) 事前にガイドラインを確認し、チーム内で周知徹底のうえ参加すること。
 - ① 参加者全員がマスクを持参し、試合中の選手・審判員を除き会場内では常に着用する。マスクを着用していない者は入館を認めない。
 - ② 試合終了後(第1試合は試合前にも)にフロアで試合に携わっていた全員が、各自で使用したベンチを消毒する。
 - ③ MCMにはチームからの参加は1名、審判員は主審のみ参加とし、全員がマスクを着用すること
 - ④ 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
 - ⑤ 両チームベンチへの挨拶を実施しない
 - ⑥ 円陣はしない
 - ⑦ 倒れた選手に手を貸さない（けが人搬出の場合は例外）
 - ⑧ ハイタッチ、抱擁を行わない
 - ⑨ ボトルを共有しない
 - ⑩ ビブスやタオルを共有しない
 - 11 ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
 - 12 ベンチでは役員はマスクを着用し、大きな声での会話を控える。また、交代要員も可能な限りマスクを着用する
 - 13 交代要員が着用するビブスを各自特定する（登録メンバー全員分のビブスが必要）
 - 14 各個人が着席するベンチを特定する
 - 15 前後半でベンチの入れ替えは行わない
 - 16 試合終了後は運営割当がある者を除き、速やかに会場から退出する
 - 17 熱中症に対するケアも徹底する

- (9) 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意しながら、競技会に参加したチーム、運営関係者は、返却後も最低1カ月を目安に各チームで保管すること。事前にガイドラインを確認し、チーム内で周知徹底のうえ参加すること。
- (10) 競技会終了後3日以内に、各チームの感染対策責任者は、自チーム関係者に具合の悪い選手・スタッフがいないか確認すること。
- (11) 競技会終了後14日以内に感染者発生があった場合には、フットサル委員会の感染症対策責任者宛 (ec@ofa-futsal.jp) に通知する。

(一社)大阪府サッカー協会：

〒550-0004

大阪市西区靱本町1丁目7番25号 伊-ダ 靱本町ビル6F (HP に地図有り)

協会に担当者は常駐しておりませんので、各種問い合わせは

メールにてお願いいたします。お電話でのお問い合わせはお控えください

メールアドレス : info@ofa-futsal.jp